

社員の健康保持・増進に関する取り組みが評価

カンロ「健康経営優良法人 2022」に認定

～健康で笑顔あふれる職場づくりをめざすカンロ独自の取り組み～

カンロ飴やピュレグミなどでおなじみのカンロ株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長 三須 和泰、以下 カンロ）は、社員の健康保持・増進に関する健康経営の取り組みが評価され、経済産業省が推進する「健康経営優良法人 2022」に認定されました。



2022
健康経営優良法人
Health and productivity

《社員の健康と会社の活力を高める健康経営》

「健康経営」とは、社員などの健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することです。経営理念に基づき、社員の健康保持・増進に取り組むことで、組織の活性化や生産性の向上、企業価値の向上等の効果が期待されます。経済産業省と日本健康会議が進める「健康経営優良法人認定制度」は、社員などの健康管理を経営的な視点で考える「健康経営」を実践する法人を顕彰する制度です。認定された企業が、社員や関係機関から社会的に評価を受けることができる環境を整備することを目標としています。

カンロは、2020年7月に健康経営宣言を制定するとともに推進体制を明確化し、2021年には健康経営戦略マップおよびロードマップを作成しました。これに基づき、社員とその家族の健康づくりに向けた支援を積極的に推し進めています。

《カンロが行う健康経営の主な取り組み》

カンロでは、社員の健康づくりを支援するため、下記のような取り組みを行なっています。

◆健康維持のための支援制度

社員の人間ドック費用を補助し、年に1度、本人による費用負担なしで人間ドックの受診を可能にしています。また、健康上の問題で治療が必要な社員が、仕事と治療を両立するための支援を目的とした「団体3大疾病保障保険」に加入しています。

◆社員の健康状態の把握

社員の健康状態を把握するため、社員意識調査、エンゲージメント調査、ストレスチェックの実施を毎年しています。さらに、エンゲージメント経営プラットフォーム「TUNAG」を活用することで、社員との双方コミュニケーションを活発にしています。

◆健康増進につながる「ハード」と「ソフト」の整備

社内には立ち会議室やスタンディングデスクを設置し、「ハード」（環境）を整備。また、フレックスタイム制度やテレワーク勤務制度による柔軟な働き方を導入するほか、生活習慣改善のためのe-ラーニングや禁煙補助など、「ソフト」の面からも、社員の健康増進をサポートしています。

カンロでは、今後も健康経営への積極的な取り組みを継続し、健康経営宣言に掲げている、健康で笑顔あふれる社員がつくる、心ときめく素敵なキャンディを世界中に届けることで、人々の笑顔に貢献していきます。

＜カンロ展開ブランド＞



■「カンロ」会社概要

社名：カンロ株式会社

代表：代表取締役社長 三須和泰

所在地：東京都新宿区西新宿3丁目20番2号 東京オペラシティビル37階

創業：1912年(大正元年)11月10日

事業内容：菓子、食品の製造および販売

URL：コーポレートサイト <https://www.kanro.co.jp/>
 KanroPOCKeT <https://kanro.jp/>

当社は創業から百余年、社名になっている「カンロ飴」を始め、ミルクフレーバーキャンディ市場売上 No.1 ブランド※「金のミルク」、菓子食品業界で初ののど飴となる「健康のど飴」、大人の女性に向けたグミ市場を創り上げた「ピュレグミ」など、常に消費者の皆様から愛され続ける商品を創り続けてまいりました。2012年からは直営店「ヒトツブカンロ」を運営し、「ヒトからヒトへ つながる ヒトツブ」をコンセプトにキャンディの魅力を発信しています。

※株式会社インテージ S R I + ミルクフレーバーキャンディ市場

2020年7月～2021年6月累計販売金額ブランドランキング

■パーパス「Sweeten the Future ～心がひとつぶ、大きくなる。～」



カンロは、2022年、企業パーパス「Sweeten the Future ～心がひとつぶ、大きくなる。～」を定めました。変化が激しく、先行きが不透明・不確実な時代の中、カンロがこれまで歩んできた道程を確認の上、自分たちの未来への想いを言語化したものです。糖から未来をつくり、糖の力を引き出す事に挑み続けてきたカンロが企業活動の中で培った技術をさらに進化させることで、「心がひとつぶ大きくなる」瞬間を積み重ねて人と社会の持続可能な未来に貢献してまいります。